

茂原市学校再編基本計画【第二期】（案）に対するこどもの意見聴取の結果

・意見の募集期間：令和８年６月１日から令和８年６月３０日まで

・意見の受付人数及び件数：８人　８件

・意見の概要とそれに対する市教育委員会の考え方

	意見の概要	意見に対する市教育委員会の考え方
1	学校の再編はかまわないが、学級の人数が多くなって教員が一人一人を見られないのは困ります。また、学級の人数が少なくなっても教員の数を減らさないでほしい。	一つの学級の児童生徒数は法令で定められています。また、配置される教員数も法令で定められており、学級数等により千葉県教育委員会が配置します。
2	私の学校では、１学級の人数が少なすぎるので、早急に統合を考えてほしい。	本計画では、学校再編の指標として許容できる学校規模の下限（許容規模）を設定し、学校規模ごとの方向性を示しています。 ＜Ⅲ. 6 参照＞
3	学校で子供の数が少ないことは、社会性が育たないことにつながると思う。低学年の時期から多くの子供に触れあうことができるようにしてほしい。	本計画では、子供たちが将来に必要な資質・能力を身に付けることができるよう、集団の中で多様な考えに触れ、協働的な学びの充実を図ることができる教育環境の確保を目指しています。 ＜Ⅲ. 3、4 参照＞
4	統合で通学距離が長くなる場合には、低学年の子供の負担が大きくなるため、スクールバスを必須として、通学費補助制度も作ってほしい。	本計画では、学校再編により通学が遠距離になる児童生徒に対しては、スクールバスの導入など、通学手段を確保するとしています。 ＜Ⅲ. 4 参照＞ なお、茂原市には、中学生で片道６キロメートル以上の距離から学校に通学する生徒に対する通学補助費を支給する制度があります。

5	学校によって児童生徒の人数に偏りがあるので、学区の見直しもある程度は必要ではないか。	本計画では、通学区域の検討にあたっては、児童生徒の通学条件、地域コミュニティのつながりなど、それぞれの地域において留意すべき事項があることから、地域協働による十分な協議と理解の中で検討していくこととしています。 <Ⅲ. 9 参照> なお、学校の小規模化の解消のみを目的とした学区の見直しでは、長期的な視点で考えた場合には、複数の学校が小規模化してしまうことが懸念されます。
6	とても良いと思う。	学校規模の適正化・適正配置の取組を推進し、学びの充実を図っていきます。
7	早い段階から学校の選択制を導入してはどうか。子供たちの声を第一に優先した最適な学校選びができる環境を望む。併せて市のサポートが必要である。	子供たちの学びの質の向上を含めた教育環境を確保するため、多様な課題の解消に向け、学校選択制も含め、調査・研究してまいります。
8	少人数の学級で学習できたほうが良いと思う。	少人数指導やグループ学習などを含めて、現代の学校教育に求められる多様な学習形態の中で充実した学びが展開できるよう、教育環境の確保に努めていきます。